

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	入居施設で一人で夜勤対応するため、利用者の急変や事故発生時の救急対応や応急手当てに不安がある。	利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員が応急手当や初期対応の実践力を身につける。	急変時のマニュアルを見直し、対応できるよう定期的に訓練を行う。また、消防署員へ協力を仰ぎ、急変時対応の研修を取り入れていく。	6ヶ月
2	49	郊外遊歩や行事という形で利用者全員での外出を行ってきたため、職員の配置によって、外出の機会が限られてしまっている。また、身体的・体力的に長時間の外出が困難な利用者も出てきている。	全てを同一期に同一に行動をさせるのではなく、一人ひとりの希望に沿った柔軟な対応での外出の支援を行っていく。	個別又は小集団での外食や買い物等を企画し、外出支援をしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5	43				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。